

5年 学年だより

舞鶴市立倉梯第二小学校

第5学年

令和元年 12月 24日(火)

冬休み号 No.9



成長の2学期を終えて… 充実の3学期へ

年度中でもっとも長い2学期が終了しました。その中で、子どもたちはたくさんの経験をし、多くのことを学びながら成長しました。

まだまだ夏の暑さが残る中で、真剣に練習に取り組んだ集団演技。子どもたちは、6年生と力を合わせて演技を完成させることを通して、高学年としての自覚と自信を身に付けることができました。先月の音楽集会では声や音を合わせることの楽しさと難しさを感じながら、去年よりもまたレベルアップした姿を全員が見せました。日々の学習や生活を通して、高学年としての自覚した姿が多々見られる2学期となりました。

いよいよ明日から冬休みに入ります。期間は短いですが、年末年始を家族と過ごす中で、今度は家族の一員としての自覚を高めるよい機会かと思えます。計画的に課題をすませ、充実した日々を送ってほしいと思います。体調や生活リズムに留意して健康に過ごし、元気に3学期を迎えられますよう、よろしくお願いいたします。

冬休みの生活



- 児童会から出た「冬休みのくらし」を読んでいただき、けじめのある生活を送り充実した休みになるようご協力をお願いします。
- スマートホンやゲーム、タブレットなどを扱わせる場合は必ず時間を守らせてください。時間などの使い方に関してのルールがない場合は子どもと話し合って作ってください。貴重な冬休みを有意義に過ごせるよう、各ご家庭でご協力をよろしくお願いいたします。

3学期当初の予定

1月7日(火)始業式 (下校 11:30)

1月8日(水)短縮4校時(下校 12時)

1月9日(木)給食開始



3学期始業式 1月7日(火) 下校 11:30

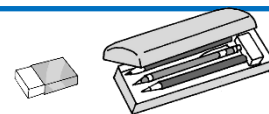
- 1 始業式 【持ち物】
- 2 学活 通知表・冬休みの宿題7つ
- 3 学活 週予定ファイル・上靴・雑巾2枚
筆記用具・図書室の本

☆忘れ物がないよう、準備しましょう☆



休みの間に

- 学用品の点検をお願いします。
 - ・ 三角定規・分度器・コンパスは3学期以降も使用します。
 - ・ 習字道具・絵の具セット・クーピー(色鉛筆)・のりなど、点検し補充や掃除(絵具セットのパレット・筆洗など)をお願いします。
- 持ち物にはすべて記名をお願いします。再度点検確認してください(鉛筆や消しゴム、ものさしなどにも記名させてください)。
- 新しく学用品を購入される場合、華美でない学習にふさわしいシンプルなものを選んで購入していただきますようお願いいたします。



冬休みの宿題



- ①冬にチャレンジ… 計画的に進めましょう。できたページはその日のうちにおうちの
人に丸を付けてもらい間違ったところは早めに直しましょう。
- ②自主学习… 自分の苦手を見極め、1年生から5年生の1学期までの復習や、2学期の
予習を進めていこう。
- ③国語「わらくつの中の神様」視写… 2学期『大造じいさんとガン』と同じように、
1行書いたら2行空けて視写をしていきます。
- ④家庭科レポート… 家庭の中でできた仕事をレポートにまとめよう。
(例)料理・掃除・作品作りなど学習したことを活かして行えるもの
- ⑤読書… 感想を持ちながら読もう。本を読んで自分の心や頭の中の世界を広げよう。
- ⑥書初め… 5年生の書初めは「進む勇氣」です。年始に落ち着いた状態で清書し、2枚
提出しましょう。(「京都新聞書初め展」については別紙をご参照ください。)
- ⑦縄跳び練習… 配布した「縄跳び検定表(なわとび王への道)」で技を確認し、3学期に
向けて練習をしていこう。

お世話になりました！「参観日&学年懇談会」

先日の学習参観日では、平日のお忙しい中にもかかわらず、たくさんの保護者の方々に足を運んでいただき、誠にありがとうございました。人権参観日ということで、「いじめ」「心」「思い」など様々なテーマについて考え、真剣に意見を発表する姿が印象的でした。

参観日終了後の「学年懇談会」では、以下の4点についてお話をさせていただきました。

- ① 高学年になって感じる子どもたちの成長
- ② 6年生に向けて付けていきたい力
- ③ スマートホン・タブレット・ゲームなどの使用状況
- ④ 子どもたちとのかかわりで大切にしていること

①・②については教師から、③・④については、保護者の方々からその状況や内容をお話し
いただきました。

③については、教師としても大きな関心事であり、保護者の方々から聞かせていただいたこ
とはたいへん興味深かったです。それぞれ子どもと約束していることや悩んでおられることな
どを聞かせていただき、これからの子どもたちとのかかわりに活かしていこうと思いました。

一歩ずつレベルアップしている子どもたちの後ろには、その背中をしっかりと支えてくださ
っている保護者の方々がおられるのだと改めて感じられたひと時でした。保護者の皆様、あり
がとうございました。